

開館15周年記念特別展Ⅱ

日本美術の荘厳 —祈りとかざり—

平成25年 5月11日(土)～7月21日(日)

前期 5月11日(土)～6月16日(日) 後期 6月18日(火)～7月21日(日)

細見美術館

開館15周年記念特別展Ⅱ

日本美術の荘厳 —祈りとかざり—

平成25年 5月11日(土)～7月21日(日)

前期 5月11日(土)～6月16日(日) 後期 6月18日(火)～7月21日(日)

細見美術館は平成10(1998)年、京都・岡崎に開館し、日本美術を中心にさまざまな視点から展覧会を行ってきました。

大阪の実業家、初代・古香庵(1901～1979)に始まり、3代にわたって蒐集された収蔵品は、縄文、弥生時代の土器から近代の琳派画家の作品まで、日本美術史を辿る多様な作品からなります。

このたび当館では、細見美術館開館15年を記念し、特別展の第Ⅱ弾として「日本美術の荘厳—祈りとかざり—」を開催いたします。

本展覧会では、初代が情熱を傾けて蒐集し、コレクションの根幹となった仏教・神道美術を中心に日本美術における荘厳(しょうこん)の世界を紹介します。

姿・形を表現された仏画や仏像、神像、また切なる願いを込めて美麗を尽くした荘厳具や装飾経などを展示するほか、日本美術の本質ともいえる「かざる」という美意識に通じる調度類も紹介します。

コレクションを通じて日本美術のもつ優美さ、繊細な感性、時に大胆なほどの力強さに触れていただけたら幸いです。

主催 細見美術館 京都新聞社
休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
開館時間 午前10時～午後6時(入館は30分前まで)
入館料 一般1,000円(800円) 学生800円(600円)
※()内は20名以上の団体料金
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

お問合せ先: 広報担当 三宅 由紀
TEL / 075-752-5555 FAX / 075-752-5955
E-MAIL / kouhou@emuseum.or.jp

展示構成

1 祈りの美 —慈しみの姿—

仏像や仏画に表わされた慈悲に満ちた仏の姿は、存在感をもって人々の信仰を集め、この世を生きる人々の救いとなりました。かざりを尽くすこと(荘嚴)が信仰の証とされ、平安時代を中心に精緻で美しい仏画が数多く誕生しています。

また中世には、神仏習合の思想が広がりをもたせ、日本古来の神々の本来の姿が仏であるという思想により、神道と仏教の両面をもつ造形が豊かに展開しました。

崇高な存在として美麗が尽くされた神や仏。そのさまざまな姿からは、真摯な祈りの心や畏怖の念が伝わってきます。



重要文化財 熊野十二社権現懸仏

[主な作品]

重要文化財 愛染明王像 一幅

普賢菩薩像 一幅

重要文化財 観音菩薩立像 一躯

重要文化財 熊野十二社権現懸仏 一面



重要文化財 観音菩薩立像



普賢菩薩像
※前期展示



重要文化財 愛染明王像
※後期展示

展示構成

2 荘嚴の美—讃え、かざる—

「かざる」ことは元来、神や仏を讃える行為でした。古くは神近く仕える女性が聖なる力を得る時、髪に花を差し、身をかざったといひます。

かざりを尽くすこと(荘嚴)が仏の意に叶うとされたことから、花や鳥のモチーフ、宝相華文などの美しい文様でかざることで、煌びやかな世界が表現されました。細緻な文様を施した装飾経や厳かに輝く仏具類に込められたかざりは、王朝貴族の好みや作り手の高度な技術が映し出されています。

「かざる」という美意識は、以後日本美術において貫かれることとなり、生活を彩る調度品の装飾にも用いられるようになりました。蒔絵や螺鈿、陶磁器や染織、七宝などに見られる華やかな意匠へと連なり、日本美術の本質を象徴するものといえましょう。

[主な作品]

重要文化財 羽黒山御手洗池出土銅鏡 40面のうち

重要文化財 金銅透彫尾長鳥唐草文華鬘 1枚

重要文化財 刺繍大日如来像 一幅

七宝 夕顔文釘隠 一個

七宝 流水蛇籠文釘隠 一個



重要文化財 金銅透彫尾長鳥唐草文華鬘



重要文化財
羽黒山御手洗池出土銅鏡のうち 花枝蝶鳥鏡



重要文化財 刺繍大日如来像(部分)
※前期展示



七宝 夕顔文釘隠



七宝 流水蛇籠文釘隠

基本情報・お問合せ

開館15周年記念特別展Ⅱ

日本美術の荘厳 — 祈りとかざり —

平成25年 5月11日(土)～7月21日(日)

前期 5月11日(土)～6月16日(日) 後期 6月18日(火)～7月21日(日)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は5時30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

入館料 一般1,000円(800円) 学生800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

主催 細見美術館 京都新聞社

出品作品点数 約50点

お問合せ先：広報担当 三宅 由紀

TEL/ 075-752-5555 FAX/ 075-752-5955

E-MAIL/ kouhou@emuseum.or.jp